

学位研究 第5号 平成8年9月 (論文)

[学位授与機構研究紀要]

大学制度における教養概念に関する一考察

A Study on the Concept of *Kyoyo*, Culture, in the Japanese Higher Education

館 昭

Akira TACHI

大学制度における教養概念に関する一考察

館 昭*

はじめに

大学制度の中で、教養という概念は重要な位置を占めている。「大学設置基準」の中では教育課程を編成する上で「幅広く深い教養」を培う配慮が求められているし、「大学設置審査内規に関する申し合わせ」では「一般教養的教育内容の取り扱い」の定めがあり、「一般教養的な教育内容を全部又は一部に含む授業科目」の開設を義務化している。また、教養部という組織を持つ大学や、教養学部という名称の学部もある。しかし、そこでの教養という語の使われ方は様々であり、教養概念は必ずしも整理されたものとはなっていない。また、日本の大学制度の中に教養という概念が導入されたのは、リベラルアーツ (liberal arts) の訳語としてであると思われるが、両者の概念には相当な隔りがある。

本稿では、教養概念の諸相を、日本語の教養と英語のリベラルアーツの異同を軸に検討し、大学制度における教養概念の整理を試みる。もちろん、大学をめぐる教養の問題は広く深いものがあり、この小論は、この問題に整理の糸口を見出すための基礎作業の一つにすぎない。

1. 一般的な教養概念

本稿は大学制度における教養概念の整理を目指すものであるが、そのためにはまず、教養という言葉の一般的な意味を見ておく必要がある。まず、日本語の標準的な辞典と目される『広辞苑』(第4版)を引いてみると、「①教えること。②(cultureイギリス・フランス; Bildungドイツ)単なる学殖・多識とは異なり、一定の文化理想を体得し、それによって個人が身につけた創造的な理解力や知識。その内容は時代や民族の文化理念の変遷に応じて異なる。『人文主義的一』¹⁾とある。

また、より簡便な辞書を2点ほど引いてみると、「[教える意] ①文化に関する、広い知識を身につけることによって養われる心の豊かさ・たしなみ。『教養を・高める(積む)』②(自己の)専門以外に関する学問・知識」(『新明解国語辞典』第4版)²⁾、「円満な人格を養い育てるために豊かな知識や技術を身につけていくこと。cultureカルチャ」(『新修国語漢和辞典』第2版)³⁾との説明がある。

*学位授与機構審査研究部教授

以上は辞典の定義でみた場合であるが、近年の教養関係の著作類をみても、例えば筒井清忠『日本型「教養」の運命』（1995）では、教養を「文化の享受を通しての人格の完成」⁴⁾としている。同書によると、明治期を通じて教養という言葉は教育とほぼ同じ意味で使われた。教養はeducationの訳語として用いられ、Bildungの訳語には修養が当てられることが多かった。Bildungの意味で教養が本格的に用いられるようになったのは、大正期の和辻哲郎の教養概念の主張を契機とする。和辻は、「青春の時期に最も努むべきことは、日常生活に自然に存在しているのではないいろいろな刺激を自分に与えて、内に萌えいでた精神的な芽を培養しなくてはならない、という所に集まってくるのです。／これがいわゆる『一般教養』の意味です。数千年来人類が築いて来た多くの精神的な宝—芸術、哲学、宗教、歴史—によって、自らを教養する、そこに一切の芽の培養があります。」⁵⁾と主張したという。

さらに、筒井氏はこの書において、昭和前期におけるエリート文化としての教養主義の展開の考察を旧制高等学校の生徒を取り上げて行なっているが、そこで分析されているのは「読書傾向」を通しての彼らの「愛好した思想・生活態度」である。ここで分析されている教養は、旧制高等学校の制度として存在する教育ではなく、あえて教育と結び付けるならばエクストラ（教科外）カリキュラムあるいはヒドゥン（潜在）カリキュラムの領域に属するものだった。

以上の考察から言えることは、以下の3点である。まず、一般的に使われている教養概念は、文化に関する広い学識を指し、専門的な学識とは反対物と観念されている。また、その語源はcultureあるいはBildungであって、liberal artsではない。さらに、教養は、生涯を通じての人格形成にかかわるもので、必ずしも大学の制度やカリキュラムに結びつく言葉ではない。

上記のことは、大学における教養概念の混乱を予想させる。まず、大学には専門としての教養が存在する。また、大学では教養はliberal artsのこととして議論されることが多い。そして、そもそも、一般的には制度的な教育と結びつかない教養を、大学の制度として存在させている。

2. 専門としての教養

まず、大学制度内に存在する、専門としての教養の状況について見てみよう、平成8年度現在、日本には国立2（東京大学、埼玉大学）、私立5（東北学院大学、東京国際大学、国際基督教大学、東海大学、帝塚山大学）、特殊法人立1（放送大学）、合計8件の教養学部が存在する⁶⁾。大学設置基準によれば、「学部は、専攻により教育研究の必要に応じ組織されるもの……」（第3条）とされ、また「大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授する……」（第19条）と規定しているから、教養学部の存在は専門としての教養の制度的存在を示している。

では、専門としての教養とはいかなる内容を意味しているのか。これを見るためには、各大学の教養学部の学科構成を比較することが有効であろう（表1）。まず、埼玉大学と帝塚山大学の場合は教養学科1学科なので、これがどのような内容のものかこれだけでは判断できない。

東北学院大学の場合は教養学科1学科ではあるが、その中は人間科学、言語科学、情報科学の3専攻に別れている。これと似ているのは、国際学科、人間関係学科からなる東京国際大学である。東京大学の場合は、超域文化学科、地域文化研究学科、総合社会科学科、基礎科学科、広域科学科、生命・認知科学科といった、他の学部には無い様な複雑な名称の学科が並んでいる。これに対して、国際基督教大学の場合は、人文学科、社会科学科、理学科、語学科、教育学科、国際関係学科と、文学部や理学部にもあるような学科が並んでいる。また、放送大学は学科ではなくコース・専攻制となっているが、生活科学コース（生活と福祉、発達と教育の2専攻）、産業・社会コース（社会と経済、産業と技術の2専攻）、人文・自然コース（人間の探究、自然の理解の2専攻）といった具合に、複数の分野に跨る名称が多用されている。また東海大学の教養学部は、生活学科、芸術学科、国際学科の3学科構成で、上記のどれとも違っている。

表1 教養学部の学科構成と他の学部

教養学部を設置する大学	教養学部の学科（専攻）構成	教養学部以外の学部
東京大学（国）	超域文化学科、地域文化研究学科、総合社会科学科、基礎科学科、広域科学科、生命・認知科学科	文、教育、法、経済、理、医、薬、工、農
埼玉大学（国）	教養学科	教育、経済、理、工
東北学院大学（私）	教養学科 （人間科学専攻、言語科学専攻、情報科学専攻）	文、経済、法、工
東京国際大学（私）	国際学科、人間関係学科 （昭和7年度から学生募集停止）	商、経済、国際関係、人間社会
国際基督教大学（私）	人文学科、社会科学科、理学科、語学科、教育学科、国際関係学科	なし
東海大学（私）	生活学科、芸術学科、国際学科	文、工、第二工、海洋、理、政治経済、体育、医、法、開発工、健康科
帝塚山大学（私）	教養学科	経済
放送大学（特）	生活科学コース （生活と福祉専攻、発達と教育専攻）、 産業・社会コース （社会と経済専攻、産業と技術専攻）、 人文・自然コース （人間の探究専攻、自然の理解専攻）	なし

このように、各大学の教養学部の学科構成に大きなばらつきがある。これは、専門分野として教養という概念を使うことの難しさを示していると言ってよいであろう。では、アメリカのリベラルアーツ学部はどうなっているのであろう。通常、大学制度としての教養の訳語はliberal artsとされているし、アメリカのリベラルアーツ・カレッジには「教養大学」の訳が当てられるのが普通である。したがって、リベラルアーツの意味を把握することが、日本の大学における教養の問題を考える上で重要な課題となる。

3. リベラルアーツの概念と日本の教養学部

まず、一般にアメリカでリベラルアーツがどのように認識されているかみてみよう。まず、アメリカ語の標準的な辞典として定評のある『ウェブスター・ニュー・ワールド辞典 (WNWD)』(第3カレッジ版)を引いてみる。すると、まず語源について、「ラテン語の*artes liberales*の英訳。すなわち、自由人 (free man) にふさわしい技芸 (arts)。 *artes serviles*, 下級の (すなわち、奴隷の) 技芸に対して言うもので、自由人 (ラテン語の *liberi*) にのみ学ぶことが許された。後世の用語法では、“紳士 (gentleman) になるための技芸」と理解された。」とされ、本文では「1. 元々は、三学 (TRIVIUM) 及び四学 (QUADRIVIUM) の教科 (subjects)。2. 学問的 (academic) カレッジの教科で、文学、哲学、言語、歴史そして通常は科学の概説 (survey) コースを含み、専門職的 (professional) あるいは技能的 (technical) 教科と区別される。 *Bachelor of Arts* の場合のように、arts とのみ記述されることがある。」と解説している⁷⁾。この説明にある三学とは文法、論理、修辞の言語系3教科、四学とは算数、幾何、天文、音楽の数学系4教科のことで、三学・四学は中世大学で必修の教科とされたものである。そして、現代では学問的カレッジの諸教科のこととされている。

ここで重要なのは、リベラルアーツは職業的教科と対立する概念ではあるが、専門と対立する概念ではないということである。すでに見てきたように日本語の教養概念は、一般には専門学術とは反対物と観念される。そして、大学制度の中で、専門分野に教養概念も持ち込んだ制度である教養学部・学科の態様大きなバラ付きが生まれている。しかし、上記のWNWDの定義にあるように、リベラルアーツは職業的 (専門職的あるいは技能的) 教科に対する学問的教科を言うのであって、専門と一般の区別に関わる概念ではない。

それでは、リベラルアーツの専門分野とはいかなる分野なのか。表2に示すのは、カーネギー分類で用いられているリベラルアーツ専門と職業専門の区別である⁸⁾。カーネギー分類は、1970年にクラーク・カー (Clark Kerr) が中心となって開発したカーネギー教育振興財団のアメリカ大学分類で、研究目的やその他の用途において、高等教育界で高い信頼を受けており、最新の改訂は1994年に行なわれている⁹⁾。

表2 カーネギー分類でのリベラルアーツ専門と職業・技能専門の区分

リベラルアーツ専門liberal arts disciplines	職業専門occupational and technical disciplines
英語・英文学English language and literature	農学agriculture
外国語foreign languages	保健関連学allied health
文芸letters	建築architecture
自由・総合研究liberal and general studies	ビジネス・経営business and management
生命科学life sciences	コミュニケーションcommunications
数学mathematics	自然資源・保護conservation and natural resources
哲学・宗教学philosophy and religion	教育education
物理科学physical sciences	工学engineering
心理学psychology	健康科学health sciences
社会科学social sciences	家政学home economics
視覚・演技芸術the visual and performing arts	法律・法規研究law and legal studies
地域・民族研究area and ethnic studies	図書館・公文書館科学library and archival sciences
マルチ・学際研究multi-and interdisciplinary studies	マーケティング・流通marketing and distribution
	軍事科学military sciences
	防護サービスprotective services
	公経営・サービスpublic administration and services
	神学theology

この分類では、英語・英文学、外国語、文学、自由・一般研究、生命科学、数学、哲学・宗教学、物理科学、心理学、社会科学、視覚・実演芸術、地域・民族研究、マルチ・学際研究がリベラルアーツの専門とされ、農学、保健関連学、建築、ビジネス・経営、コミュニケーション、自然保護・資源、教育、工学、健康科学、家政学、法律・法規研究、図書館・公文書館科学、マーケティング・流通、軍事科学、防護サービス（警察、消防等）、公経営・サービス、神学が職業的な専門とされている。このように、リベラルアーツの専門とされるものは、日本の大学の学部制度では教養学部には置かれた専門だけでなく、文学部、理学部、経済学部、社会学部などにある専門分野にまたがる、あるいはそちらに中心があるものであることがわかる。

なお、この専門区分を用いてのカーネギー分類におけるリベラルアーツ・カレッジ(Baccalaureate (Liberal Arts) Colleges I) の定義は、「学士学位プログラムを重点とした、基本的にはアンダーグラデュエート・カレッジ。授与する学士学位の40%以上がリベラルアーツ分野のものであり、入試選抜度が高い。」¹⁰⁾というものである。つまり、リベラルアーツ・カレッジの学生も専門教育を受ける。また、最近ではリベラルアーツ・カレッジと呼ばれる大学でも、職業分野の専門を置くことが一般的であるため、カーネギー分類ではリベラルアーツ分野が40%以上を、基準としている（ちなみに、前回の1987年版では50%を基準としていた¹¹⁾）。

では、実際のリベラルアーツ学部にはどのような専門が置かれているのであろうか。表3は、アメリカで最も有名なりベラルアーツ・カレッジの一つであるアマーフト・カレッジ(Amherst

College) で開設されている専攻 (major)¹²⁾を一覧にして、表 2 に示したカーネギー分類の専門の区分と、筆者の判断によって対照させたものである。

表 3 アマーストカレッジの専攻

アマーストカレッジの専攻	カーネギー分類の専門との対照
アフリカ系アメリカ人 (黒人) 研究	(リ) 地域・民族研究
アメリカ研究	(リ) 地域・民族研究
人類学	(リ) 地域・民族研究
アジア研究	(リ) 地域・民族研究
天文学	(リ) 物理化学
生物学 (一般)	(リ) 生命科学
化学	(リ) 物理化学
古典	(リ) 文芸
コンピュータ科学	(職) コミュニケーション
東・南アジア諸語	(リ) 外国語
経済学	(リ) 社会科学
英語	(リ) 英語・英文学
ヨーロッパ研究	(リ) 地域・民族研究
フランス語	(リ) 外国語
地質学	(リ) 物理科学
ドイツ語	(リ) 外国語
ギリシャ語 (古典)	(リ) 外国語又は文芸
歴史学	(リ) 文芸又は社会科学
ラテン語	(リ) 文芸
法律 (法手続及び社会思想)	(職) 法律・法規研究
数学	(リ) 数学
マルチ・学際研究	(リ) マルチ・学際研究
音楽 (一般)	(リ) 美術・演技芸術
神経科学	(リ) 生命科学
哲学	(リ) 哲学・宗教学
物理学	(リ) 物理科学
政治科学及び政府	(リ) 社会科学
心理学	(リ) 心理学
宗教学	(リ) 哲学・宗教学
ロシア語	(リ) 外国語
社会学	(リ) 社会科学
スペイン語	(リ) 外国語
スタジオ芸術	(リ) 視覚・演技芸術
女性研究	(リ) マルチ・学際研究

注：(リ) はリベラルアーツ専門、(職) は職業専門に属する

これによると、アマースト・カレッジの設定している専攻は、カーネギー分類に挙げられているリベラルアーツ専門の内、「自由・一般研究」を除くすべての専門に渡っている。職業専門

に属する専攻も開設しているが、コンピュータ科学と法律の2専攻のみで、カーネギー分類のリベラルアーツ・カレッジの定義と、ぴったり合っていることがわかる。

アマーストの場合は、独立のリベラルアーツ・カレッジの例であるが、多くのリベラルアーツ・カレッジは総合大学(university)の中に、その中核的な組織として組み込まれている。表4は、アメリカの総合大学を代表する大学の一つであるハーバード大学(Harvard University)の中のリベラルアーツ・カレッジであるハーバード・ラドクリフ・カレッジに置かれている専攻の一覧である¹³⁾。

表4 ハーバード・ラドクリフ・カレッジの専攻

アフリカ系アメリカ人(黒人)研究(リ)	東及び東南アジア言語(リ)
アメリカ文学(リ)	東アジア研究(リ)
アメリカ研究(リ)	東ヨーロッパ言語(リ)
分析化学(リ)	東ヨーロッパ研究(リ)
人類学(リ)	生態学(リ)
応用数学(リ)(職)	経済学(リ)
アラビア語(リ)	素粒子物理学(リ)
考古学(リ)	工学(職)
建築及び関連課程(職)	工学デザイン(職)
地域研究(リ)	工学物理学(職)
地域・民族・文化研究(リ)	エンジニアリング科学(職)
芸術史(批評及び保存)(リ)	工学(一般)(職)
芸術(一般)(リ)	英語(リ)
アジア系アメリカ人研究(リ)	英作文(リ)
アジア研究(リ)	英文学(イギリス)(職)
天文学(リ)	環境保健工学(職)
天体物理学(リ)	民族及び文化研究(リ)
大気科学及び気象学(リ)	ヨーロッパ研究(リ)
生化学(リ)	環境生物学(リ)
生物及び生命科学(リ)	実験心理学(リ)
生物学(一般)(リ)	フィルム／映画研究(リ)
生物物理学(リ)	フィルム／映像制作(リ)
細胞生物学(リ)	映画撮影及び制作(リ)
化学及び原子／分子物理学(リ)	美術(リ)
化学(リ)	外国語及び文学(リ)
中国語(リ)	フランス語(リ)
古典及び古代近東諸語(リ)	地理学(リ)
古典(リ)	地球物理学及び地震学(リ)
比較文学(リ)	ドイツ語(リ)
コンピュータ及び情報科学(リ)(職)	ドイツ語以外のゲルマン系言語(リ)
コンピュータ及び情報科学(総合)(リ)	グラフィック・デザイン(リ)
コンピュータ科学(職)	コマース・アート及びイラスト制作(リ)(職)
創造的作文(リ)	ギリシャ語(古典)(リ)
デザイン及び視覚コミュニケーション(リ)	ギリシャ語(近代)(リ)
発達及び児童心理学(リ)	ヘブライ語(リ)
ドラマ／劇場文学(歴史及び批評)(リ)	歴史保存及び建築史(リ)
地球及び惑星科学(リ)	歴史学(リ)

産業及び組織心理学（リ） 情報科学及びシステム（職） 無機化学（リ） 国際関係（リ） イスラム研究（リ） イタリア語（リ） 日本語（リ） ユダヤ語／ユダヤ研究（リ） ラテン語（リ） 自由学芸及び人文学（リ） 言語学（リ） 数学（リ） 数学及びコンピュータ科学（リ）（職） 機械工学（職） 中世及びルネッサンス研究（リ） 中東諸語（それぞれ）（リ） 中東研究（リ） 分子生物学（リ） マルチ・学際研究（リ） 音楽史及び文学（リ） 音楽理論及び作曲（リ） 音楽（一般）（リ） 音楽学及び民族音楽学（リ） 神経科学（リ） 光学（リ） 有機化学（リ） 組織行動研究（リ） 古生物学（リ） 哲学（リ） 哲学及び宗教（リ） 物理及び理論化学（リ）	物理科学（リ） 物理学（リ） 政治科学及び政府（リ） 高分子化学（リ） ポルトガル語（リ） 医学予科（リ） 心理学（リ） 宗教学（リ） ロマンス諸語（それぞれ）（リ） ロシア語（リ） ロシア及びスラブ地域研究（リ） スカンジナビア語（リ） 科学，技術及び社会 ロシア語以外のスラブ諸語（リ） 社会心理学（リ） 社会科学（リ） 社会学（リ） 南アジア諸語（リ） 南アジア研究（リ） 東南アジア研究（リ） スペイン語（リ） 統計学（リ） スタジオ芸術（リ） システム工学（職） システム科学及び理論（職） 理論及び数理物理学（リ） 都市研究（リ） 視覚及び環境研究（リ） 視覚及び演技芸術（リ） 西ヨーロッパ研究（リ） 女性研究（リ）
---	---

（リ）はリベラルアーツ専門，（職）は職業専門を示す。

ここに示されるように、ハーバード大学のカレッジでは、136の専攻が設置されている。これらの専攻は、カーネギー分類でリベラルアーツ専門とされるすべての専門分野に渡っている。また、専門性の程度も、例えば「生物学（一般）」や「物理学」の様に当該専門分野の広い内容を包含するものから、「生物物理学」、「細胞生物学」あるいは「素粒子物理学」、「光学」の様に、より細分化した専攻までが用意されている。

専門としてのリベラルアーツの意味とリベラルアーツ学部における専攻分野の実態が以上のようなものだということがわかった上で、再度日本の教養学部の学科構成をみよう。（表1）すると、アメリカのリベラルアーツ学部に近いのが国際基督教大学の教養学部であることがわかる。国際基督教大学の場合、学科構成は人文学、社会科学、理学、語学、教育学、国際関係学で、教育学を除けば、その守備範囲は表2に示したリベラルアーツ分野の主要部分をほぼ包含している。しかし、他の大学では、リベラルアーツの分野に属する専門で構成されているものの、その範囲はほぼ「自由・総合研究」、「地域・民族研究」あるいは、「マルチ・学際研究」

に属するものに限られている。

このことと、教養学部の置かれている大学の全体の学部構成を考慮に入れて考えると以下の点が指摘できる。専門としての教養を、国際基督教大学では、リベラルアーツの意味で使っている。しかし、他の大学の場合、教養はリベラルアーツ専門の内の一部、特に複数の専門に跨るような（「学際的」）専門の意味で使っている。国際基督教大学の教養学部は、リベラルアーツの分野を包含し、日本の他の大学では文学部、理学部に置かれる専門が教養学部の主体となっている。これに対して、東京大学や東海大学のような総合大学に置かれた教養学部の場合、リベラルアーツ専門の主要部分は、文学部や理学部、あるいは経済学部等に置かれている。つまり、日本の大学における教養学部は、大きく別けてそれを「本格リベラルアーツ型」と、「学際リベラルアーツ型」に別けることができ、後者が多数派である。

ちなみに、学位授与機構の学士制度では、学士（教養）が授与されるが、その審査のための専攻の区分は比較文化、地域研究、国際関係、科学技術研究の4つとされており、「学際リベラルアーツ型」となっている¹⁴⁾。

4. 学芸学部と文理学部との関係

さて、これまでは教養概念とリベラルアーツの異同をみてきたが、日本の大学制度の中には、他にもリベラルアーツとの関係と考慮する必要のある概念がある。その一つが、学芸であり、他の一つは文理学である。

まず、学芸は、その名称からいって、教養よりもリベラルアーツそのものを指している概念と思われる。平成8年度現在、公立1大学（大阪女子大学）、私立5大学（宮城学院女子大学、津田塾大学、相模女子大学、同志社女子大学、大阪樟蔭女子大学）、計6大学に学芸学部が存在するが、その学科構成を示したものが、表5である¹⁵⁾。

表5 学芸学部の学科構成と他の学部

学芸学部を設置する大学	学芸学部の学科（専攻）構成	学芸学部以外の学部
大阪女子大学（公）	国文学科，英文学科，人間関係学科，基礎理学科，応用数学科	なし
宮城学院女子大学（私）	英文学科，日本文化学科，人間文化学科，音楽科（家政学専攻，管理栄養士専攻）	なし
津田塾大学（私）	英文学科，国際関係学科，情報数理科学科	なし
相模女子大学（私）	国文学科，英米文学科，食物学科（食物学専攻，管理栄養士専攻）	なし
同志社女子大学（私）	英語英文学科，日本語日文学科，音楽学科	生活科
大阪樟蔭女子大学（私）	国文学科，英米文学科，食物学科，被服学科，児童学科	なし

これをみると、これらの学芸学部のうち、大阪女子大学と津田塾大学のそれは、それぞれ「国文、英文、人間関係、基礎理学、応用数学」、「英文、国際関係、情報数理学」という学科構成で、国際基督教大学と良く似た学科構成になっている。つまり、この学部は「本格リベラルアーツ型」の教養学部と同じ種類に属する。他の4つの学芸学部は、他の大学では文学部に置かれる専門と、家政学部に置かれる専門を合わせ持つような専門構成になっている。

つぎに、文理学部の状況をみてみよう。これまでみてきたように、リベラルアーツの専門の多くは、日本の学部制度では、文学部と理学部に置かれるものである。したがって、文学部と理学部の複合体である文理学部が、専門構成からみればリベラルアーツ学部と相似するのは当然であろう。平成8年度現在、文理学部は私立2大学（東京女子大学、日本大学）存在する¹⁶⁾。その学科構成を示したものが表6であり、両者とも「本格リベラルアーツ型」に近い姿となっている。ただし、東京女子大学の場合、文理学部の他に現代文化学部をもっており、「学際リベラルアーツ」がそこに分離された型になっている。

表6 文理学部の学科構成と他の学部

文理学部を設置する大学	文理学部の学科構成	文理以外の学部
東京女子大学（私）	哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科、数理学科	現代文化
日本大学（私）	哲学科、史学科、国文学科、中国文学科、英文学科、独文学科、社会学科、教育学科、体育学科、心理学科、地理学科、地球システム学科、数学科、応用数学科、物理学科、応用物理学科、化学科	法、経済、商、芸術、国際関係、理工、生産工、工、医、歯、生産資源科、薬

このように、大学制度の中での教養概念は、学芸あるいは文理学の概念と密接な関係を持っており、教養概念の整理のためにはこれらの概念と合わせ検討が必要となる。

5. 新設置基準による教養

さて、平成3年の大学設置基準改正で、一般教育に代わって教養教育が大学カリキュラムの必須要素として登場した。旧基準では「大学が開設すべき授業科目は、その内容により、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目及び専門教育科目に分ける。」（第19条）と規定されていた。しかし新基準ではこうした科目区分の強制は無くなり、「大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。／教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸

を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するように配慮しなければならない。」(第19条)と、質的な規定となっている。

ここでの教養という言葉は、明らかに専門と区別する意味で使われている。また、教養等のカリキュラム要素は、必ずしも固有の授業科目として置かなくても良いように読める。つまり、専門の学芸を教授する中で、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性が育まれるように配慮することで、大学のカリキュラムの要件を満たすと読めるのである。これは、教養学部に置かれる専門としての教養概念とは明らかに違っており、アメリカのリベラルアーツの考え方でない。戦前の思想状況下で形成され、現在の辞書等に現れる一般的を教養観、つまり生涯を通じての人格形成にかかわるもので、必ずしも大学の制度やカリキュラムに結びつくものではない教養観を引きずりつつも、それをカリキュラム要素としている点で注目すべき教養概念である。

一方、設置基準の改正に対応してつくられた大学設置・学校法人審議会の「大学設置審査内規に関する申し合わせ」では、「一般教養的教育内容の取り扱い」という項を設け、新たに「一般教養」という概念を導入している。そして、「教育課程の編成に当たっては一般教育的な教育内容を全部又は一部に含む授業科目を開設する必要がある」と規定した。この記述は、同申し合わせの中の「外国語の取り扱い」や「保健体育の取り扱い」の記述が、前者は「外国語の能力の育成に対する配慮は重要である。／この配慮がなされているかどうかについては、課外活動、施設面を含め大学教育全体を通じた総合的な判断が必要である。」、後者が「……配慮する必要がある／大学生生活全体を通じた総合的な判断が必要である。」となっているのと比較するとき、一般教養(的教育内容の)科目の開設を求めていることは明らかである。

いずれにしても、教養概念は大学制度の中で、ますます重要度を高めているようにみえる。教養概念を巡る混乱は、早急に解消する必要がある、この小論はそのための基礎作業の一つとなれば幸いである。

注

- 1) 『広辞苑』第4版, 岩波書店, 1991年, 678頁。
- 2) 『新明解国語辞典』第4版, 三省堂, 1989年, 312頁。
- 3) 『新修国語漢和辞典』第2版, 集英社, 1976年, 119頁。
- 4) 筒井清忠『日本型「教養」の運命』岩波書店, 1995年, 3頁。
- 5) 同上, 39頁。
- 6) 文部省高等教育局大学課監修『平成8年度全国大学一覧』文教協会, 1996年。
- 7) *Webster's New World Dictionary of American English*, Third College Edition, Prentice Hall, 1988, p.778.
- 8) Ernest L. Boyer *A Classification of Institutions of Higher Education*, 1994 Edition, The Carnegie Foundation for the Advancement of Teaching, pp.xx-xxi.

- 9) 同上, p.vii.
- 10) 同上, p.xix.
- 11) Ernest L. Boyer *A Classification of Institutions of Higher Education*, 1987 Edition, The Carnegie Foundation for the Advancement of Teaching, p.7.
- 12) *The College Handbook*, 1995 Thirty-second Edition, The College Entrance Examination Board. p.717.
- 13) 同上, p.739。
- 14) 学位授与機構『新しい学士への途』(平成8年度版), 1995年, 20頁。
- 15) 注6)。
- 16) 同上。

[ABSTRACT]

A Study on the Concept of *Kyoyo*, Culture, in Japanese Higher Education System

Akira Tachi*

The usage of the Japanese term *kyoyo* is confusing. *Kyoyo* means “culture” in general. But this term has two additional meanings in the Japanese higher education system. There is a liberal arts college named the *kyoyo* college. In this case, *kyoyo* means “liberal arts disciplines”. But there are several colleges which are named the *kyoyo* college that offer multi/interdisciplinary studies in the fields of liberal arts. In the latter cases, *kyoyo* means only “multi- and interdisciplinary studies”.

There are more confusing facts. The direct translation of “liberal arts” into Japanese is *gakugei* and there are several *gakugei* colleges. Some of them are liberal arts colleges. But others are different. Most liberal arts colleges affiliated with universities are called the college of arts and science or the college of letters and sciences in the United States. The direct translation of “arts/letters and sciences” into Japanese is *bunri*. And, again, there are some *bunri* colleges. Some of them are liberal arts colleges. But others are different.

In this study I use the Carnegie definition of liberal arts disciplines to analyze the complex situations concerning *kyoyo* and to make some order in it. According to the Carnegie definition, the liberal arts disciplines include English language and literature, foreign languages, letters, liberal and general studies, life sciences, mathematics, philosophy and religion, physical sciences, psychology, social sciences, the visual and performing arts, area and ethnic studies, and multi- and interdisciplinary studies. The occupational and technical disciplines include agriculture, allied health, architecture, business and management, communications, conservation and natural resources, education, engineering, health sciences, home economics, law and legal studies, library and archival sciences, marketing and distribution, military sciences, protective services, public administration and services, and theology. I found this classification is very useful to see academic disciplines.

*Professor, National Institution for Academic Degrees

